

令和5年度（2023年度）

市政モニター 第1回アンケート結果

テーマ1 「スポーツ」について

生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課

八王子市

あなたのみちを、
あるけるまち。  八王子

目 次

《市政モニターの属性》	1
テーマ1「スポーツ」について	
問1 この1年間におけるパラスポーツへの関わり方	2
問2 パラスポーツの体験やイベントへの参加意向	3
問2-1 体験やイベントに興味がない理由(自由記述)	3
問3 興味のあるパラスポーツ(大会・競技など)	6
問4 スポーツを通じた共生社会の実現のために、行政が行う重要な取り組み	9
問5 スポーツに関する情報を得ている媒体	10
問6 スポーツ活動への参加方法	10
問7 スポーツに関するボランティアに参加するために重要なこと	11
問8 八王子市で開催されたスポーツクライミング国際大会の周知度	12
問9 国際スポーツ大会の開催により、得られる効果	13
問10 八王子市が推進すべきスポーツ施策	14

市政モニターの属性

(太枠内は今回の回収数)

全 体		郵送		インターネット		合計	
		40	39	60	60	100	99
性別	男性	17	16	33	33	50	49
	女性	23	23	27	27	50	50
年代	18歳～29歳	3	3	5	5	8	8
	30歳代	4	4	8	8	12	12
	40歳代	5	5	16	16	21	21
	50歳代	8	8	17	17	25	25
	60歳～64歳	4	4	4	4	8	8
	65歳以上	16	15	10	10	26	25
地区	中央 (本庁地区)	4	4	15	15	19	19
	西南部 (浅川・横山・館地区)	10	10	10	10	20	20
	東 部 (由木・由木東・南大沢地区)	2	2	13	13	15	15
	西 部 (元八王子・恩方・川口地区)	8	8	11	11	19	19
	東南部 (由井・北野地区)	2	2	6	6	8	8
	北 部 (加住・石川地区)	14	13	5	5	19	18

(定員は100名)

※ アンケート実施期間:令和5年(2023年)8月1日から令和5年(2023年)8月22日まで

※ 回収率:99%(小数点第2位を四捨五入)

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

※ 割合の表現については、以下の表記を基本とする。

<例>

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1~40.9%	41.0~43.9%	44.0~45.9%	46.0~48.9%	49.0~49.9%

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除・修正した。

テーマ1 「スポーツ」について

生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課

市では、平成26年（2014年）3月に「八王子市スポーツ推進計画」を策定し「生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じたまちづくり」を基本方針に掲げ、スポーツ推進施策に取り組んでいます。本計画の期間は令和6年度（2024年度）までであり、令和7年度（2025年度）から始まる新たなスポーツ推進計画（仮）の策定に向け、市政モニターの皆様にご意見をお伺いします。

※ここでいう「スポーツ」とは…

本調査における「スポーツ」の定義は、野球やサッカーのような勝敗を競う競技スポーツだけではなく、健康づくりのためのウォーキングや軽い体操、地域コミュニティにおける運動会や自然と親しむためのハイキングやキャンプなどの野外活動といったレクリエーション活動を含め、目的を持った身体活動を指します。

問1 あなたはこの1年間にパラスポーツ（※）を見たことがありますか。（○は1つだけ）

※「パラスポーツ」…

障害のある人のために考えられた、障害の有無に関わらず取り組めるスポーツについて広く表す言葉です。

(n=99)

	構成比(%)
偶然にテレビ、ラジオ、インターネット配信などで間接的に見た（ニュースなどで流れるダイジェストや特集番組も含む）ことがある	72.7
積極的にテレビ、ラジオ、インターネット配信などで間接的に見た（ニュースなどで流れるダイジェストや特集番組も含む）ことがある	11.1
偶然にスタジアム・体育館・沿道・ショッピングモールなどで直接見たことがある	8.1
積極的にスタジアム・体育館・沿道・ショッピングモールなどに行き、直接見たことがある	4.0
見たことがない	4.0

この1年間にパラスポーツを見たことがあるか聞いたところ、「偶然にテレビ、ラジオ、インターネット配信などで間接的に見た（ニュースなどで流れるダイジェストや特集番組も含む）ことがある」が7割強（72.7%）と最も多く、次いで「積極的にテレビ、ラジオ、インターネット配信などで間接的に見た（ニュースなどで流れるダイジェストや特集番組も含む）ことがある」が1割強（11.1%）であった。

問2 あなたはパラスポーツの体験やイベントに参加したことはありますか。(○は1つだけ)
(n=99)

	構成比(%)
参加したことがある	12.1
参加したことはないが、今後参加してみたい	45.5
参加したことはなく、あまり興味がない	42.4

パラスポーツの体験やイベントに参加したことがあるか聞いたところ、「参加したことはないが、今後参加してみたい」が4割台半ば(45.5%)と最も多く、次いで「参加したことはなく、あまり興味がない」が4割強(42.4%)であった。

【問2で「参加したことはなく、あまり興味がない」を選択した方】

問2-1 あまり興味がない理由をお聞かせください。(自由記述)

《パラスポーツに触れる機会がない》

- パラスポーツを身近に感じられていない。(30歳代)
- やってみたい気もするが、パラスポーツにかかわったことのある人が身近にいないため、ハードルが高い感じがする。(40歳代)
- 近くにそのような施設がなく、どうしても時間がかかる。(40歳代)
- 近くで見る機会がなかったから。(50歳代)
- 身近にパラスポーツに触れないから。(70歳代)
- いままで身近にパラスポーツに接することがなく、面白いかどうかわからない。(70歳代)
- 70歳を過ぎているので、今までもパラスポーツ選手と接する機会がなかったため理解するのが困難だと思う。(70歳代)

《情報が少ない》

- そもそもどこでその体験ができるのか知らない。(30歳代)
- どのような競技があるのか知らないから。健常者が参加できるイベントを知らないから。
(30歳代)
- パラスポーツについての知識が皆無でどのように参加できるかわからないから。
(40歳代)
- パラスポーツの事業そのものを知らなかったから。(60歳代)
- 競技を行っている情報が入ってこない。(70歳代)

《スポーツ観戦をしない》

- 運動の観戦はそれほど好きではない（自分でするのはそれなりに好き）。(40 歳代)
- パラスポーツに関係なく、スポーツ観戦をあまりしません。(40 歳代)
- スポーツを見ることがない。(40 歳代)
- 通常のスポーツ観戦も行かないので。(50 歳代)

《忙しくて時間がない》

- 自分の子どももまだ小さく、子育てが忙しいから。(30 歳代)
- 時間の余裕がないため。(50 歳代)
- 仕事でやるひまがない。(50 歳代)
- 仕事中心の生活だった。(70 歳代)

《パラスポーツに興味がない》

- 身近にパラスポーツをやっている友人や知人がいないため、興味がわくことがあまりありません。自分が好きな有名人や芸能人が参加していると、少し興味がわくと思います。(40 歳代)
- 参加するほど、パラスポーツに興味がない。(50 歳代)
- 興味がない理由はなく、興味がないだけ。(70 歳代)

《パラスポーツを見ることに興味はあるが、イベント等への参加には興味がない》

- 見ることに興味はあるが、自分は今のところ障害を持っていないので、自分がパラスポーツをやることはできないと思っているため、体験やイベントには関心がない。(60 歳代)
- テレビ、ラジオなどで見る程度の興味はあるが、積極的に体験やイベントに参加したくなるほどの興味は持っていないため。自分の身近な人にパラスポーツに関連する人がいないことなどが積極的な興味を持っていないことの要因かもしれないです。(60 歳代)

《スポーツ自体に興味がない》

- スポーツに興味がないから。2件（ともに70 歳代)
- スポーツ自体あまりしないため、どちらかと言えば文化的な行事が好みです。(60 歳代)

《その他》

- 野球・相撲などが好きだが、毎回見る（テレビで）ほどではないし、自分の好きなスポーツにパラスポーツがないので。(40 歳代)
- 差別してる訳ではないが感情移入しづらいため。(40 歳代)
- 障害者スポーツ（パラスポーツ）と健常者スポーツと分けることを理解できない。(50 歳代)
- 興味がないわけではありません。でも、自分に必要なことがあれば参加したいと思います。
(50 歳代)
- パラスポーツに参加できる方は、家庭や環境等の支援に恵まれた一部の方で、障害者全体の視点で考えたときに、不公平感があると思われるため。(60 歳代)
- スポーツとしては素晴らしいが、一人ひとりの障害は違うと思うので、イコールになっていないと思う。(60 歳代)

- スポーツの体験やイベントに参加する機会があるならばパラスポーツではない方に、と考えるから。(60 歳代)
- スポーツ観戦は「世界大会」を好んで観ますが、パラスポーツの場合「同情」という感情になり、スポーツ観戦として観れない。(60 歳代)
- 障害者のため。(60 歳代)
- 足にしびれがあり、不安なので。(60 歳代)
- 観ていて息がつまる。(70 歳代)
- 車いすなど使うスポーツは、技術的に無理。ボッチャなど、少し単純すぎて、興味がわかない。高齢なため、新たなスポーツは覚えられない。(80 歳代)

問3 あなたはどのようなパラスポーツ（大会・競技など）に興味がありますか。

（○はいくつでも）

（n=99）

	構成比(%)
パラリンピック	57.6
車いすテニス	55.6
車いすバスケットボール	41.4
ボッチャ	30.3
車いすラグビー	19.2
ブラインドサッカー	16.2
車いすダンス	11.1
車いすフェンシング	9.1
シッティングバレーボール	8.1
スペシャルオリンピックス	7.1
ゴールボール	7.1
デフリンピック	6.1
パラパワーリフティング	4.0
サウンドテーブルテニス	3.0
その他	13.1

どのようなパラスポーツ（大会・競技など）に興味があるか聞いたところ、「パラリンピック」が6割近く（57.6%）と最も多く、次いで「車いすテニス」が5割台半ば（55.6%）であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 興味がない。7件
- スポーツに興味なし。
- マラソン
- 陸上競技
- 伴走をしているのでブラインドの走者と一緒に走る。
- バドミントン、車いすカーリング、射撃
- スポーツ観戦は「世界大会」を好んで観ますが、パラスポーツの場合「同情」という感情になりスポーツ観戦として観れない。

～パラスポーツ（大会・競技など）について～

※1 パラリンピックとは…

障害のあるトップアスリートが出場できる世界最高峰の国際競技大会です。原則としてオリンピックと同じ都市・同じ会場で行われます。

※2 デフリンピックとは…

聴覚障害のあるトップアスリートが出場できる国際競技大会です。選手だけでなく、運営も聴覚障害のある方が行っています。

※3 スペシャルオリンピックスとは…

知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織の事です。

※4 車いすバスケットボールとは…

車いすに乗って行うバスケットボールのこと。選手が車いすを使用すること以外は、一般のバスケットボールのルールとほぼ同じです。

※5 車いすテニスとは…

車いすに乗ってプレーするテニスのこと。ツーバウンドでの返球が認められていること以外は、一般のテニスのルールとほぼ同じです。

※6 ブラインドサッカーとは…

視覚障害のある方がプレーするサッカーのこと。キーパー以外の4人の選手はアイマスクを装着し、転がると音の鳴るボールをドリブルやパスでゴールまで運びます。

※7 ボッチャとは…

ジャックボールと呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う球技です。

※8 車いすダンスとは…

車いすに乗った人と健常者がペアを組んで踊る社交ダンスのこと。車いす同士で踊るダンスも含まれます。

※9 車いすラグビーとは…

四肢に障害のある人向けに考案された、車いすで行うチームスポーツです。蹴ること以外の方法（投げる、打つ、ドリブル、転がすなど）でボールをゴールまで運びます。特徴として相手の攻撃や防御を阻止するため、車いすでのタックルが認められています。

※10 ゴールボールとは…

視覚障害のある選手が、鈴の入ったボールを転がすように投げ合って、味方ゴールを守りながら、相手ゴールにボールを入れて得点を競う競技です。

※11 シットティングバレーボールとは…

床に臀部(でんぶ)の一部が接触した状態でプレーするチーム競技です。一般のバレーボールよりもネットの高さを低くし、狭いコートで行います。

※12 サウンドテーブルテニスとは…

視覚障害のある方が行う卓球のことで、球の中に金属の球が4つ入っていて、その音を頼りにプレーします。ネットの下が空いており、ネットの下にボールを通してラリーします。

※13 車いすフェンシングとは…

車いすを固定した状態で行う競技で、一般のフェンシングと同じ剣や防具を使用します。競技者の腕の長さに応じて対戦者間の距離を調節し、上半身のみで競技を行います。

※14 パラパワーリフティングとは…

下肢障害のある選手によるベンチプレスのこと。床に足を着けて行うのではなく、延長されたベンチプレス台の上に足を乗せて行うのが特徴です。

問4 スポーツを通じた共生社会（※）の実現のために、行政が行う取り組みとしてどのようなことが重要だと思いますか。（○は3つまで）

※「スポーツを通じた共生社会」とは…

誰もがスポーツの価値を享受し、様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しめる環境の構築を目指すこと。

(n=99)

	構成比(%)
障害のある人もない人も楽しめるスポーツ体験会・大会などの実施	65.7
障害のある人もない人も参加しやすい環境づくり（パラスポーツ専用用具の貸出やバリアフリー化の促進）	53.5
パラスポーツ情報の拡充	34.3
パラスポーツチーム等への支援	26.3
パラスポーツの指導者・ボランティアの養成	25.3
障害を理解するための講話、講習会など	22.2
障害者施設・団体との連携	17.2
その他	6.1

スポーツを通じた共生社会の実現のために、行政が行う取り組みとして重要だと思うことを聞いたところ、「障害のある人もない人も楽しめるスポーツ体験会・大会などの実施」が6割台半ば（65.7%）と最も多く、次いで「障害のある人もない人も参加しやすい環境づくり（パラスポーツ専用用具の貸出やバリアフリー化の促進）」が5割強（53.5%）であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 益子直美さんの取り組む「怒らず指導する指導者・ボランティア」を望みます。
- 障害があり、スポーツができないため、重要だと思うことはない。
- 施設の充実と交通網。
- 興味がない。
- まず共生社会は誰のためですかと八王子市の行政に問いたいです。我が家には愛の手帳2度の重度知的障害の小学生の息子がいます。障害児を育てる親として、共生は無理です。インクルーシブなんていっていますが、差別しかないこの世の中で、どうやって育てようかと毎日試行錯誤です。行政が何かしてくれるなら、医療刑務所跡地の八王子市子安町の公園は健常の人は使えないようにしてほしい。インクルーシブといいますが、障害がある子どもは待つことが苦手です。なので、公園で遊ぶのもとても大変です。健常児に順番を抜かされると怒りしかありません。障害がある人専用の公園施設があるととてもうれしいです。

問5 あなたはどのような媒体からスポーツに関する情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

(n=99)

	構成比(%)
テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌、CMなどの情報媒体	82.8
インターネット、SNSなどの電子媒体	59.6
市や都の広報紙	26.3
チラシ、ポスターなどの紙媒体	17.2
地域の方や所属するスポーツクラブ、学校、職場などの人づて	16.2
スポーツ団体が発行するパンフレットなど	5.1
その他	1.0

スポーツに関する情報を得ている媒体を聞いたところ、「テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌、CMなどの情報媒体」が8割強(82.8%)と最も多く、次いで「インターネット、SNSなどの電子媒体」が6割弱(59.6%)であった。

問6 あなたはどのような形でスポーツ活動に参加したいと思いますか。(〇は3つまで)

(n=99)

	構成比(%)
健康増進、仲間づくりを目的とした、レクリエーションスポーツに参加したい	65.7
プロスポーツや各種競技大会などを観戦する形で参加したい	48.5
ハイキングやキャンプといった、余暇を充実させるレクリエーション活動に参加したい	48.5
大会やイベントなどのボランティアとして参加したい	17.2
技術・記録向上を目的とした、競技スポーツに参加したい	9.1
地域の方や子どもたちに教える指導者として参加したい	7.1
選手のケアやマネジメントなど、スポーツに取り組む人たちを支援する形で参加したい	4.0
その他	0.0
参加したくない	10.1

どのような形でスポーツ活動に参加したいと思うか聞いたところ、「健康増進、仲間づくりを目的とした、レクリエーションスポーツに参加したい」が6割台半ば（65.7%）と最も多く、次いで「プロスポーツや各種競技大会などを観戦する形で参加したい」と「ハイキングやキャンプといった、余暇を充実させるレクリエーション活動に参加したい」が5割近く（48.5%）であった。

問7 スポーツに関するボランティアに参加するためには、どのようなことが重要だと思いますか。

(〇は3つまで)

(n=99)

	構成比(%)
気軽に参加できる機会の拡充	69.7
ボランティア情報の入手のしやすさ	56.6
イベント・大会の魅力向上	41.4
ボランティアの養成、研修会の充実	25.3
自分の能力を活用できる場	21.2
家族の理解・協力・応援	17.2
他のボランティアとの交流	12.1
記念品などのノベルティ	8.1
その他	2.0

スポーツに関するボランティアに参加するために、重要だと思うことを聞いたところ、「気軽に参加できる機会の拡充」が7割弱（69.7%）と最も多く、次いで「ボランティア情報の入手のしやすさ」が6割近く（56.6%）であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 障害者専用施設があると良い。
- 興味がない。

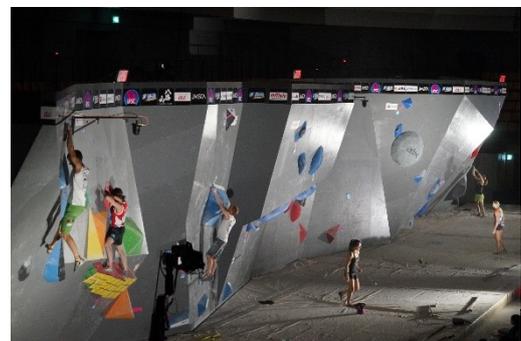
問8 八王子市では2017年から2023年までの間にスポーツクライミングの国際大会(※)が4回開催されていますが、ご存じでしたか。(○は1つだけ)

(n=99)

	構成比(%)
すべて知っている	5.1
一部知っている	34.3
知らない	60.6

八王子市ではスポーツクライミングの国際大会が4回開催されていることを知っているか聞いたところ、「知らない」が約6割(60.6%)と最も多く、次いで「一部知っている」が3割台半ば(34.3%)であった。

※過去に八王子市で行われたスポーツクライミングの国際大会の様子



壁についたカラフルなホールドを使って道具を持たずに自身の体一つで登る競技です。

問9 国際スポーツ大会の開催により、人的交流や、経済活動の活性化など様々な効果がもたらされますが、得られる効果として、あなたが重要だと思うことは何ですか。（〇は3つまで）
(n=99)

	構成比(%)
人的交流に伴う宿泊、飲食などの街の賑わい	59.6
八王子市の伝統文化や自然、特産品などの観光PR	46.5
海外選手、関係者との国際交流	45.5
大会と同じ競技が体験できるスポーツ体験教室などの開催	39.4
インフラ整備（施設整備、多言語化、DXなど）	28.3
ボランティアなど大会に関わる機会の創出	23.2
その他	1.0
無回答	1.0

国際スポーツ大会の開催により、得られる効果として重要だと思うことを聞いたところ、「人的交流に伴う宿泊、飲食などの街の賑わい」が6割弱（59.6%）と最も多く、次いで「八王子市の伝統文化や自然、特産品などの観光PR」が5割近く（46.5%）であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 障害がありスポーツができないため重要だと思うことはない。

問 10 国が推進する以下のスポーツ施策のうち、八王子市においてはどの分野を重点的に推進すべきだと思いますか。

(○は3つまで)

(n=99)

	構成比(%)
スポーツによる健康増進 (※4)	61.6
スポーツによる地方創生、まちづくり (※5)	39.4
スポーツの国際交流・協力 (※3)	38.4
多様な主体におけるスポーツの機会創出 (※1)	33.3
スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」(※8)	25.3
スポーツを通じた共生社会の実現 (※7)	24.2
スポーツを実施する者の安全・安心の確保 (※9)	16.2
スポーツの成長産業化 (※6)	7.1
スポーツ界におけるDXの推進 (※2)	5.1

国が推進するスポーツ施策のうち、八王子市はどの分野を重点的に推進すべきか聞いたところ、「スポーツによる健康増進」が6割強(61.6%)と最も多く、次いで「スポーツによる地方創生、まちづくり」が4割弱(39.4%)であった。

～「国のスポーツ施策」について～

※1 多様な主体におけるスポーツの機会創出…

日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を目指すこと。

※2 スポーツ界におけるDXの推進…

デジタル技術により、様々なスポーツに関する知見や機会を市民・社会に広く提供できるようにすること。

※3 スポーツの国際交流・協力…

国際スポーツ大会の開催などにより、スポーツを通じた国・地域・人々のつながりが強くなること。

※4 スポーツによる健康増進…

地域住民の多様な健康状態やニーズに応じて、スポーツを通じた健康増進により健康長寿社会の実現をはかること。

※5 スポーツによる地方創生、まちづくり…

スポーツを活用し、地域の社会課題の解決を促進することで、競技振興と地域振興の好循環の実現を目指すこと。

※6 スポーツの成長産業化…

スポーツ市場を拡大し、その収益をスポーツ環境の改善に還元し、スポーツ参加人口の拡大につなげるという好循環の実現を目指すこと。

※7 スポーツを通じた共生社会の実現…

誰もがスポーツの価値を享受し、様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しめる環境の構築を目指すこと。

※8 スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」…

スポーツに親しむうえで不可欠となる場づくりや環境の構築、スポーツに関わる人材の育成等といった基盤の確保、強化を目指すこと。

※9 スポーツを実施する者の安全・安心の確保…

ケガやパワハラなどといった本人の希望しない理由等で、スポーツから離れたりスポーツに親しむ機会を奪われたりすることが無いよう、スポーツを実施する者の心身の安全・安心の確保を目指すこと。

**令和5年度(2023年度)市政モニター
第1回アンケート結果
令和5年(2023年)11月**

**発行 八王子市総合経営部 広聴課
八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042(620)7411(直通)
FAX 042(620)7322**